熊本県立大学
地域連携型学生研究　テーマ募集

地域連携型学生研究制度は、地域企業・地域社会から共同研究テーマを募集し、そのテーマをもとに学生が研究として取り組むものです。
実社会と学生とを結びつけ、学生の自律と自立に向け就業力の育成を図ることを目的としています。
同時に地域にとっても課題解決・飛躍の大きな可能性のある機会です。
皆さまからのご応募お待ちしております。

実施期間・応募条件

実施期間：令和9年（2027年）4月～令和10年（2028年）3月の1年間

下記①～④を満たすものを条件とします。
※熊本地震、令和２年７月豪雨からの復興支援に関するテーマも受け付けます。

① 地域振興に有益なもの
② 大学との共同研究で意義があるもの
③ 学生研究に相応しいもの
④ 学生教育につながる取組となるもの

応募方法

申請書に必要事項をご記入の上、郵送にてご応募ください。
本学ホームページ上に申請書のフォーマットやこれまでの活動を掲載しております。

活動内容について

地域ラブラトリー

応募締め切り

令和8年
12月24日(木)午後5時　必着

問い合わせ先

〒862-8502
熊本市東区月出3丁目1番100号
熊本県立大学　共通教育センター
TEL：096-234-6779
E-mail：gplab@pu-kumamoto.ac.jp

令和8年度
活動紹介

くまにちん

熊日電子版における現状と“刺さる”コンテンツの提案

連携先：熊本日日新聞社

私たちは熊本日日新聞社と連携し、熊日電子版の利用者増加に向けた研究を行っています。今年はコンテンツに軸足を置き、記事内容や読者の関心を分析し、「刺さる」コンテンツの特徴を明らかにするとともに、コンテンツの改善や新たな提案につなげることを目指しています。



じんべえザメ

宇土市の情報発信が関係人口と地域経済に与える影響の分析と効果的な発信手法の提案

連携先：宇土市役所プロモーション係

私たちは宇土市役所の方々と連携し、長部田海床路に訪れる観光客がどこで情報を得て、何にお金をおとしたかを把握するためのアンケートを作成しています。今後は、アンケートの実施と分析を行い、より効果的な情報発信の手法を検討していきます。



たまらん！玉名PJ

地元住民の魅力発見と市内消費促進に向けた取り組み

連携先：玉名商工会議所

私たちは玉名商工会議所の方々と連携し、地元住民が玉名の魅力を再発見し市内で消費を楽しむ仕組み作りに取り組んでいます。マップやモデルコース、SNS掲載用の新聞の作成を通じて、市街の流出を防ぎ市内回遊を促進することで、地域経済の活性化に貢献します。



もりラボ

阿蘇草原保全の継承のための草原維持ボランティア運営体制の検討

連携先：公益財団法人阿蘇グリーンストック、
熊本県県北広域本部阿蘇地域振興局

私たちの研究ではボランティアの実態を明らかにすることで、今後の草原保全のあり方を検討します。阿蘇は縄文時代から人の手によって草原が維持されてきましたが、少子高齢化等で維持が困難です。現在、重要な担い手となりつつあるボランティアの実態に迫ります！



周変七九壱

地域課題解決に向けたコミュニティラジオの活用

連携先：熊本シティエフエム(FM791)

熊本シティエフエムや向山校区と連携し、地域の防災力の向上を目指す活動です。若者の防災訓練への参加促進や災害時の共助に向け、現場取材やヒアリングを通して課題を抽出します。学生の視点を生かした体験型企画や、ラジオ放送を活用した防災啓発の取り組みを提案・実践します。



天草プロジェクト

高校生の地元就職意識を高める取り組みに関する研究

連携先：天草市役所

私たちは若者の地元就職に対する意識の向上とUIターンの促進を目的として活動しています。天草市の地元企業社員と交流を行う「若者トークカフェ」や、白亜祭での天草市紹介の展示といった活動を通じて、高校生が地元に就職するための取り組みについて研究を行っています。



課題探究プロジェクト



多世代協働による地域づくりの手法に関する研究
－地域課題を題材とした課題探究学習を通して－

連携先：熊本市東区役所　区民部　託麻まちづくりセンター

私たちは、子どもが地域の大人とともに地域課題について考え、取り組む「まちづくりリーダーのたね授業」を実施しています。今年度は地域防災をテーマに、行政・地域・NPO・小学校などと連携し、地域への関心や愛着、つながりを深めることを目指しています。

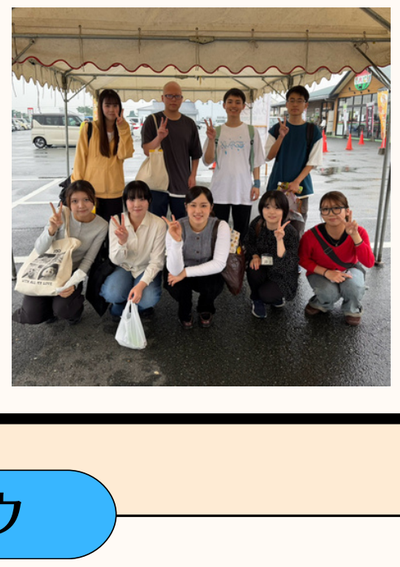


マロン’s

やまが和栗の地域商標登録を目指して

連携先：山鹿市役所

私たちは山鹿市役所と連携し、西日本一の生産量を誇る「やまが和栗」の地域団体商標登 録を目指し、認知度を高める取り組みを行っています。実際に、やまが和栗に関わる方々 やお店を取材し、食味調査やパンフレットの作成、SNSでの情報発信を行っています。



小薗チーム

運動公園の利用促進に関する研究
―働き盛り世代の新規利用者獲得に向けた取り組み―

連携先：一般財団法人 熊本県スポーツ振興事業団

私たちは、熊本県スポーツ振興事業団の方々と連携し、熊本県民総合運動公園を普段利用しない働き盛り世代の来場を目指して研究しています。防災キャンプで新たな利用者の獲得につながるかを検証し、その結果をもとに、継続的な公園利用につながるイベントの企画を目指します。



プリティーゴクウ

あらお海陽スマートタウン体験価値発見とブランドコア形成に関する研究

連携先：荒尾市

私たちは荒尾市と連携し、２０２６年６月に開業した「あらお海陽スマートタウン」での体験価値を言語化し、その価値をブランドの芯として明らかにするための研究をおこなっています。今後は、現地での調査結果を分析し、フィールドワークでの体験も踏まえて研究を進めていきます。



佐藤工務店

避難所のサイン計画について

連携先：熊本市役所

令和8年熊本地震の被災地である八代市、宇城市等を対象に、避難所として活用される公共建築の情報やサインを整理・分析しています。平常時と災害時の双方に対応できるサイン計画や情報提供のあり方を検討し、熊本市をはじめ多くの自治体に活用できる知見の創出を目指しています。

